

大淀川床上浸水対策特別緊急事業 (瓜田川水門)

平成16年12月

国土交通省 九州地方整備局

宮崎河川国道事務所

1.事業の概要

●事業の目的

大淀川の支川瓜田川合流点は未整備であった為、平成2年、平成5年及び平成9年等の大きな出水時、大淀川本川からの逆流により氾濫し、家屋の集中した小山田地区では、浸水被害に見舞われてきた。そこで、本事業は本川からの逆流を防ぐべく、合流点部に水門を設置し、外水による浸水被害の解消を図るものである。

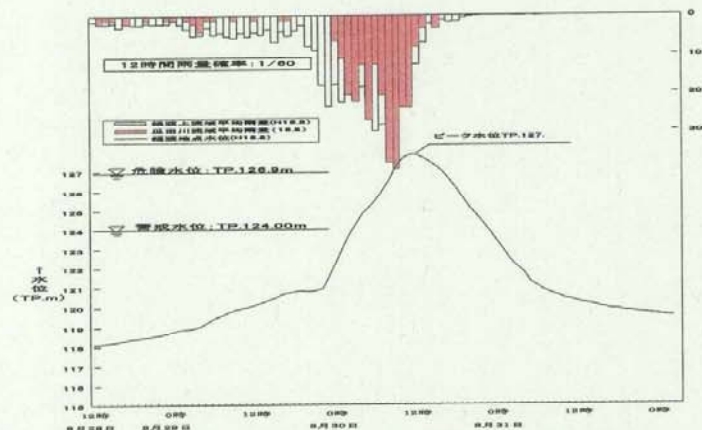


2. 評価の概要

評価項目	評価結果
1. 事業の効率性	事業は予定工期で完了し、費用も当初計画と同程度の26億円で完成した。
2. 事業の効果	水門完成後に大きな出水が無いため、被害軽減の実例はないが、シミュレーションでは十分な軽減効果が認められ、費用対効果も $B/C=9.9$ となり、妥当性が認められた。
3. その他の評価	完成後に大きな出水は無いため、水門が機能すべき出水が発生した際にその効果等について委員会に報告する。
事後評価の結果	事業について、一定の効果が期待でき、機能上も特に問題はない。

3. 今回検証した台風16号の降雨特性

樋渡上流雨量

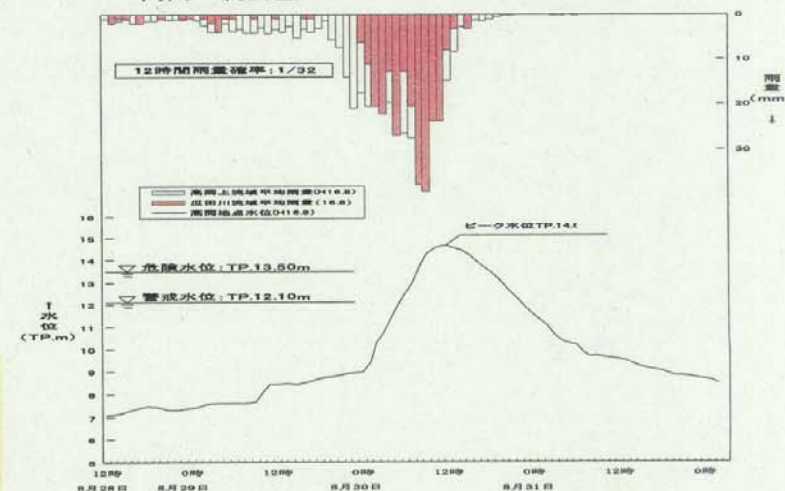


台風被害状況

	床上 (戸)	床下 (戸)	面積 (ha)
大淀川 上流	33	75	915
大淀川 下流	131	128	481
計	164	203	1,396

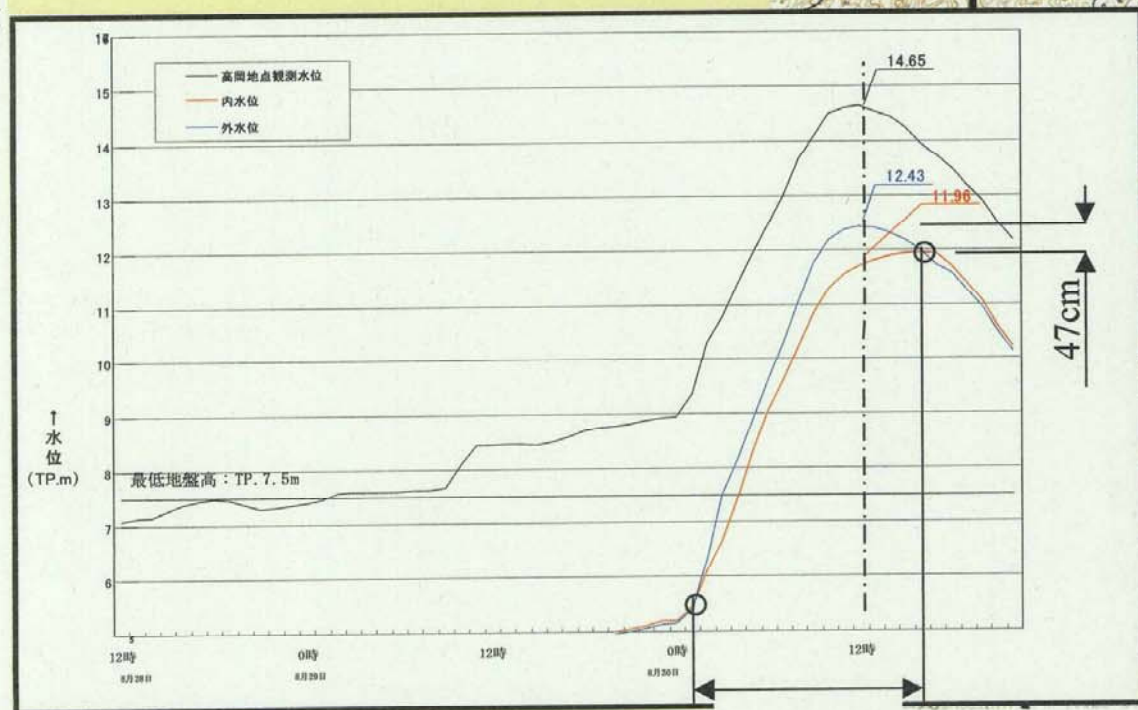
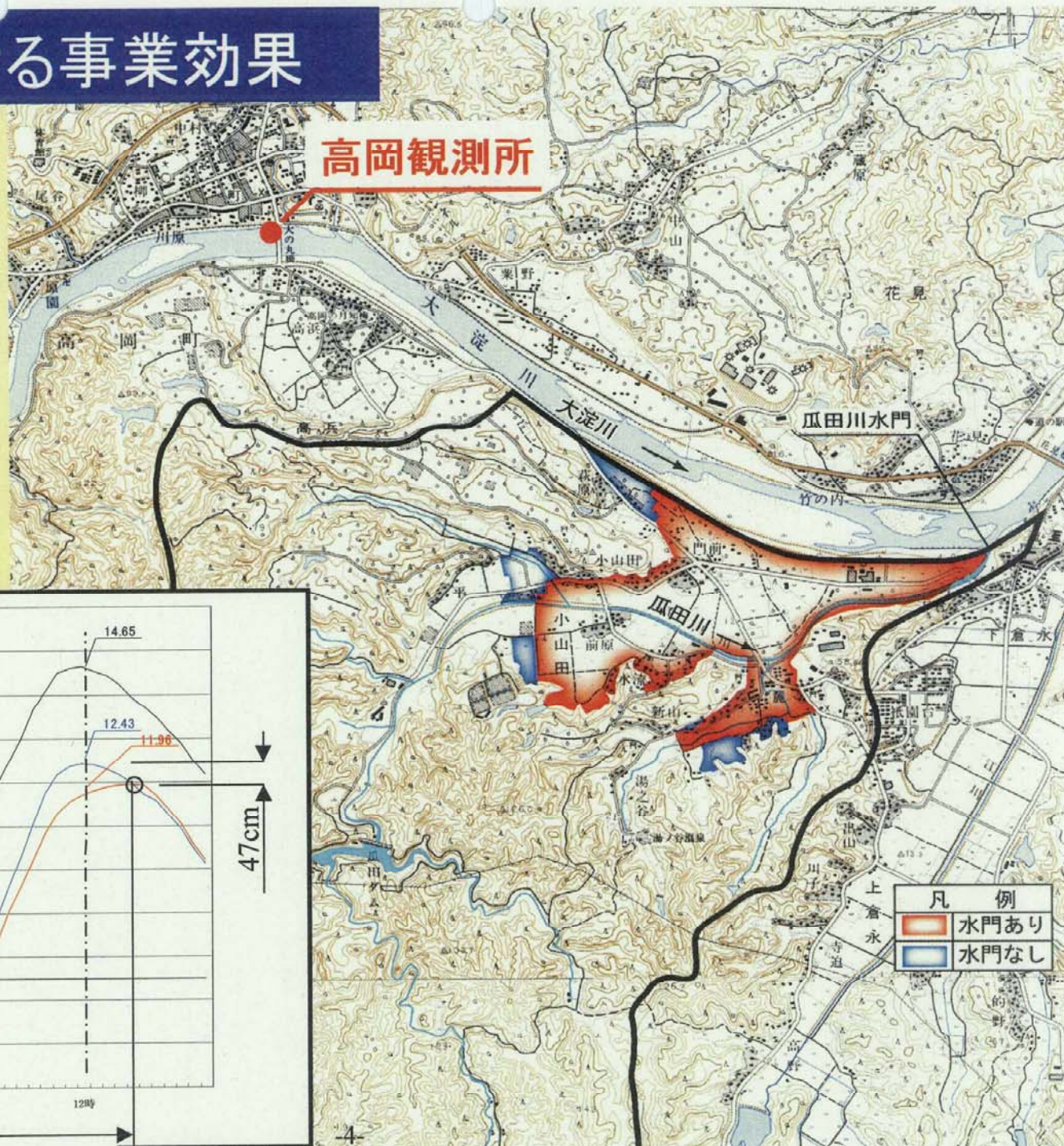


高岡上流雨量



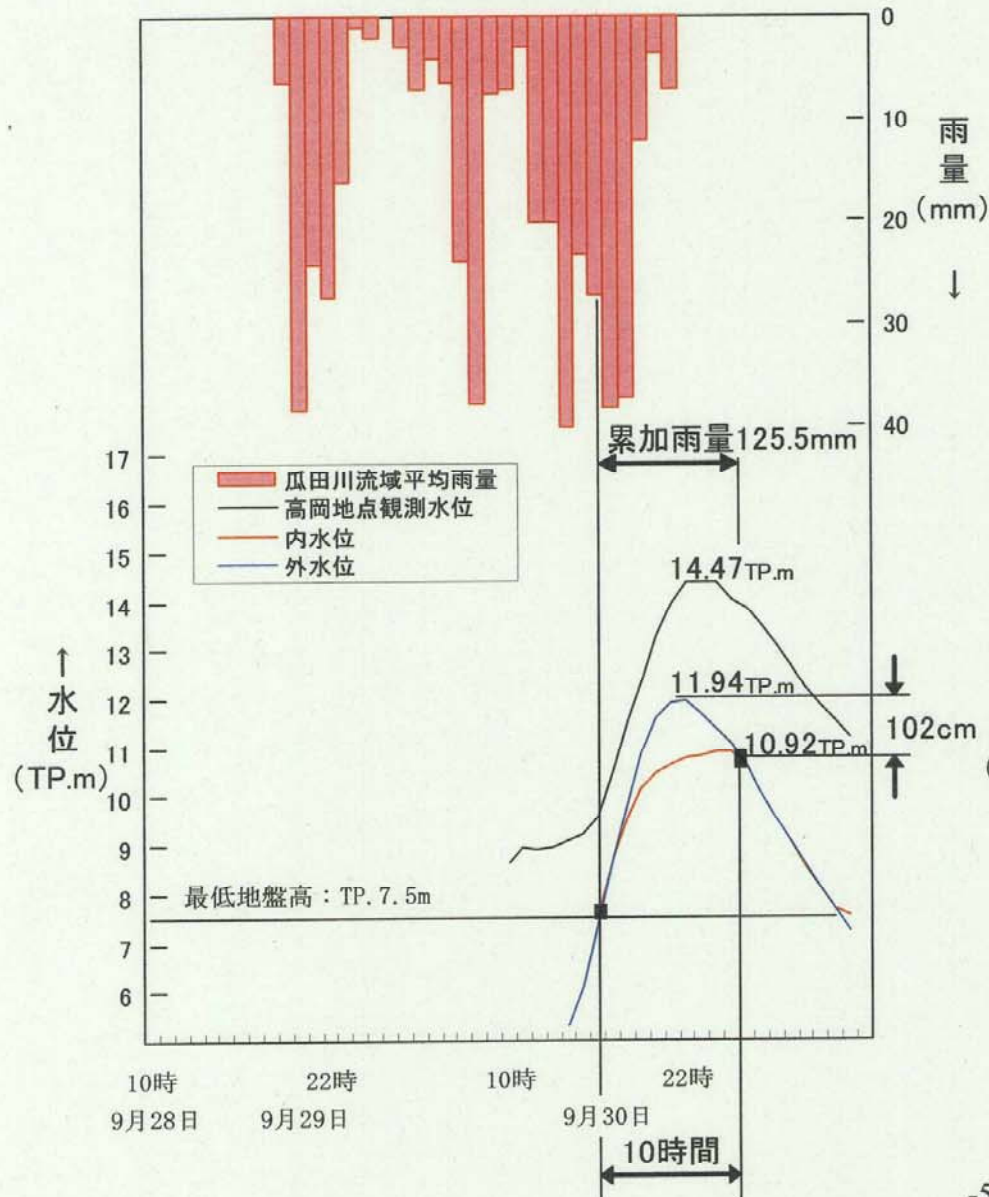
4. 台風16号における事業効果

	湛水面積 (ha)	湛水深 (m)	家屋(戸)		
			床上 浸水	床下 浸水	計
水門あり	96	4.47	94	85	179
水門なし	109	4.95	112	101	213
差	13	0.48	18	16	34

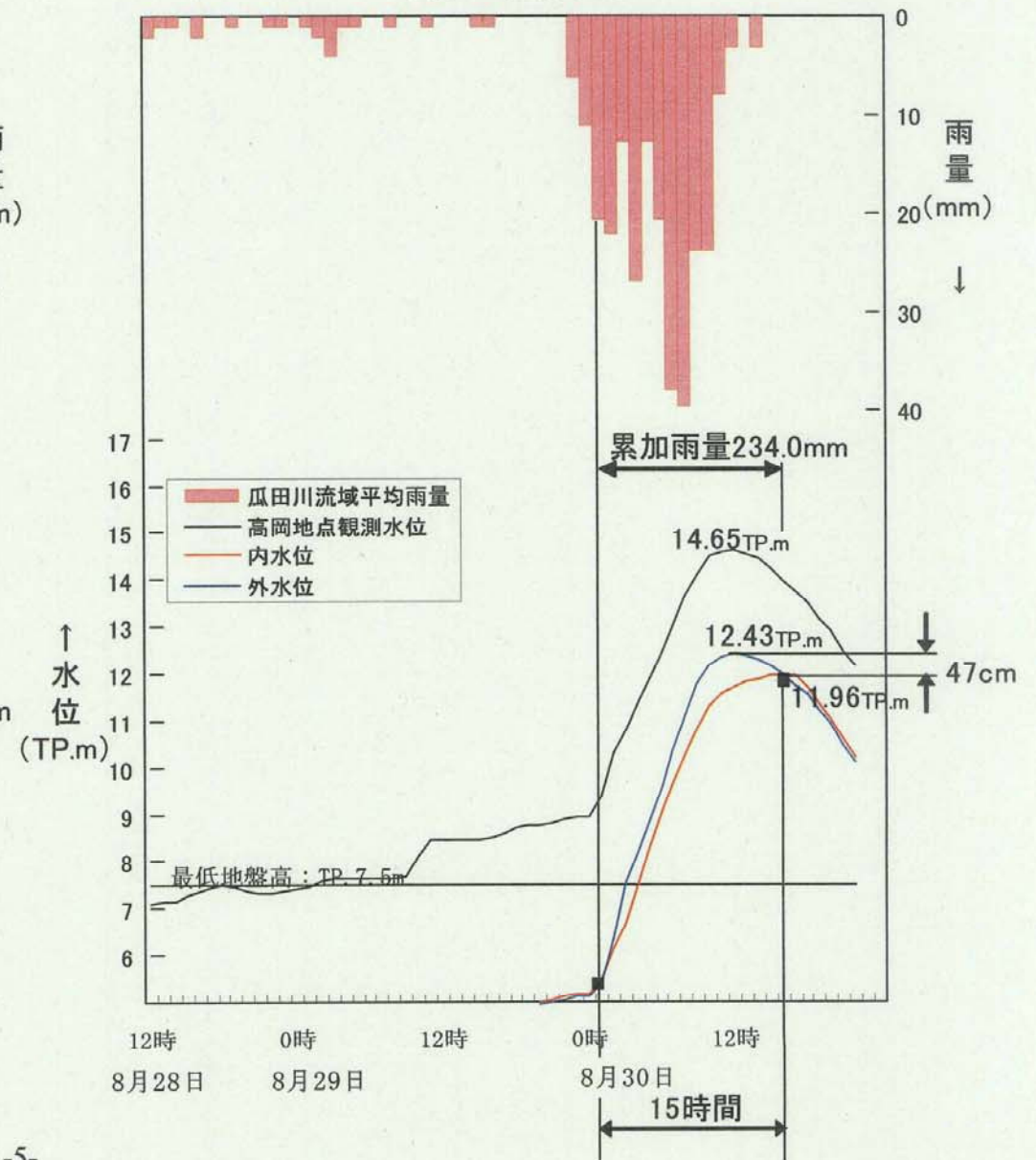


5.計画洪水との比較

平成2年9月出水



平成16年8月出水



6.事業の効果

評 価 項 目

評 価 結 果

事業の効果

平成16年8月の台風16号による出水において、本事業の目的である本川からの逆流を防ぎ、**外水による浸水被害解消には効果があった。**